

6月9日、西区スポーツセンターで開催されたリーダー研修に南区から8名参加してきました。広島市心身障害者福祉センター3名の職員の方が講師です。

アイマスク体験では、視覚障がい者の方々が、不向きや視覚以外の感覚を駆使しながら活動されていることを理解できました。

ゴールボールの競技では、視覚をシャットアウトするためにアイマスクを着けます。ボールが転がることを知らせる鈴の音が、耳を澄ませても雑音が邪魔をすると距離間隔が分からず、身体にボールがぶつかってくる恐怖感もありました。



「感覚を研ぎ澄まして トライ！」 ゴールボール」

向洋新町 榎本 美香

私たちはこの研修で、健常者も視覚障がい者も同じ条件でプレーできる楽しさと魅力を学んできました。



2025

南区

発行	広島市南区スポーツ推進委員協議会
責任者	会長 田 武
編集	廣 報 部



6月9日に開催されたリーダー研修会の内容の共有を行いました。始めに、視覚障がいのある方との接し方、そしてその世界を少しでも感じるべく、アイマスクを着着して先導者（パートナー）とともに歩く体験をしました。白杖をお持ちの方のお困りの様子を見かけたら、ちゅうちよなく親切の押し付けには十分気を付けて、さり気ない挨拶と会話も心がける。これはケアの基本ではないかと感じました。

次に、ゴールボールの研修を行いました。ゴールボールとは、鈴の入ったボールの転がる音や選手同士の掛け声、相手の動く物音、床の振動やラインの感触、視覚以外のすべての感覚を研ぎ澄まして戦うパラ

南区伝達講習会

六年七月二十一日(日)

南区スポーツセンターにて

黄金山学区 共田 陽一

受賞おめでとう

◇広島市学区体育団体連合会表彰
【功労者表彰】

佐竹久美子(南区：荒神町)
盛中 亜紀(南区：翠町)



リンピック競技です。選手は音を頼りに競技するため、観客はプレー中、声を出しての応援ができません。使用するボールはバスケットボールとほぼ同様ですが、重さはバスケットボールのほぼ二倍！当たると結構痛いのです。いつどこから？ボールが来る気配、味方と自分の距離感、ついつい発してしまう声などなど…聴覚と触覚に全集中しているつもりでしたが雑念邪念の自分にはとても難しく感じました。

「わいわいキッズ」

翠町学区 盛中 亜紀



南区スポーツセンターでは小学生を対象にした「わいわいキッズ」が開催されています。

9月21日と1月25日の2回の「わいわいキッズ」では、スポーツ推進委員が主体となりモルックを体験してもらいました。

今回は4チーム編成で、倒したスキットの点数で進めるすごろくゲームを使って分かりやすい特別ルールで楽しみました。

初めて参加した子もモルックに



詳しい子との3〜4人のチームワークによって楽しく遊べました。

学校も学年も異なる子と一緒にスポーツできる「わいわいキッズ」に、気軽に遊びにきてください。次回もわくわくする楽しい企画を準備して待っています。

第30回

広島市スポーツ・

レクリエーション

フェスティバル

比治山学区 佃 良和



10月13日にホットスタッフフィールド広島(広島広域公園)など全13会場で第30回 広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバルが行われました。

この大会は、1994年開催の広島アジア競技大会のメモリアル大

爽やかな秋風に吹かれ、自然に恵まれた広域公園内を散策しながら歩くこの種目は、速さを競うのではなく、ゲーム有り、クイズ有りの楽しいウォークラリーです。



会として、1995年から開催され、歴史を刻んできました。総参加者は、3万6千人を超えたそうです。

そして今年、区対抗種目において、南区は、なんと20回目の総合優勝を飾りました。

一般公募種目では、南区スポーツ推進委員は、ウォークラリーを担当させていただいており、毎年多くの方々にご参加いただいています。

自然で整う

ウォークラリーIN元宇品

段原学区 原尻 忠始

天候に恵まれた11月4日、元宇品公園を周回コースとして、「第13回ウォークラリーIN元宇品」を開催しました。参加51組、総勢164名をお迎えしてスタート・ゴール地点のみなと公園を出発です。

穏やかな瀬戸内海を横目に見ながらの海側コースと、小鳥のさえずりや森林浴で整いながらの山側コースに分かれてのスタートです。コース途中のポイントでは、スポーツ推進委員の考えたクイズやじゃんけん、ペットボトルで作られたベツトモルックなど小さなお子様やご年配の方まで笑顔になっていたのが印象的でした。途中の海岸線では満潮と重なったため波が遊歩道まで打ち上げられるハブニングもあったり、砂浜ではきれいな貝殻を拾ったりと、思い思いのウォークラリーを楽しんでいました。ゴール地点のみなと公園では閉会式までの間、市スポーツ協会南区健康増進リーダーや南区スポーツセンターの方々にご協力をいただき、ニュースポーツや昔遊びを体験していただきました。また、昨今の健康ブームもあつ

て、毎回ご協力いただいています南区役所地域支えあい課の「健康相談コーナー」も大人気でした。閉会式ではウォークラリー上位3組を表彰。その後全参加者とお楽しみの抽選会開催です。ウォークラリー中とはまた別の歓声も揚がっていて、こちらは大変盛り上がりしました。協賛していただきました企業様、地域団体様、そして最後まで盛り上げてくださいました参加者の皆様に感謝いたします。また、次回のウォークラリーも皆様と一緒に盛り上げられることを楽しみにしています。



P連親善スポーツ大会

大州学区 毎熊 真美

12月1日、南区スポーツセンターは、笑いとお熱気にあふれていました。この日は、南区PTA連合会の主催で親善スポーツ大会が開催され、スポーツ推進委員は審判員を務めました。

各小・中学校チームに役員チームを加えた全32チームは、午前の部と午後の部に分かれて、ふらばーボールバレーを楽しみました。



この競技となつて10年。奥の深いスポーツです。ネットを挟んだ相手チームとの対戦のみならず、特殊な形のボールの独特なバウンドを攻略することも鍵の一つなのです。



予測できない動きに笑いが起きつつも、何とかつなげようと仲間同士で声を掛け合いながら一点を取得する...そんな熱い熱い試合が繰り広げられました。



「南区研修会・
情報交換会」

皆実町学区 永井孝典

1月18日、翠町小学校体育館において南区スポーツセンタ祭りの第8回ふらばーるボールバレー親善交流会に先立ち、大会でスポーツ推進委員が審判などを担当するため、これを円滑に出来るよう、研修を行いました。スポーツ推進委員初年度の私にとって、なじみのない球技でしたので、大変有意義な研修となりました。

ふらはーるボールバレーは(おにぎりイラスト入れる)のような形をしたフワフワしたボールを使う球技です。ユルイ球技?と高をくくっていましたが、バレーボールと異なり、必ず三回まわして返す、その一回目のボールは、サーブのときは直



接、それ以外ではワンバンドさせてレシーブ、といったルールの違いで混乱しがち。それを掛け声で助け合いながら、幅広い年齢層の方々が一緒にできる球技となっていることに関心しました。

その後、スポ推のメンバーは、情報交換会を行いました。各学区の年末年始の行事の様子など、意見を交わしました。



スポーツセンターまつり
第8回ふらばーる
ボールバレー交流会

元宇品学区 西村久志

2月9日、南区スポーツセンターにおいてスポーツセンターまつりが開催されました。当日、様々なスポーツイベントが開催される中、我々スポーツ推進委員は「ふらばーるボールバレー」の運営、進行をサポートしました。

主には競技
審判ですが、大
会の準備、コー
ト設営も参加
メンバーで行
いました。

この大会の前には事前研修会として、フ



ラバールの審判スキルアップとローカルルールの確認。新人のメンバーも、この事前講習会で審判スキル向上を図り、審判デビューしますが、当日は大きなトラブルもなく、見事なジャッジメントをしてくれました。大会では17学区24チーム参加していただき、各コート接戦に次ぐ接戦。どの学区もレベルが高く、ふらばるバレーが南区全体で広く周知されていると感じました。スポーツ推進委員がふらばるバレーの普及を始めて今年で10年経過しますが、各学区にも幅広く広がり、また他の学区との交流ツールに一役買っていると感じます。今後もレベルアップしていく選手たちに負けないよう、更なる普及と推進に努めてまいります。



編集後記

今年度は、委員や役員、さらには広報部のメンバーも一部が交替し、広報体制や内容もリニューアルしました。

広報誌である、この「南風」は、当協議会の活動ができるだけ多くの方に紹介したいため、当協議会がかかわる、ほぼ全てのイベントや研修会の様子を掲載することにしました。

また、ホームページについても、イベントなどの都度、詳細な活動日記として、広報部作成の「広報編」と総務部作成の「記録編」をそれぞれ作成し、タイムリーに更新しています。

今後とも、各学区や地域のスポーツ活動に役立つよう、広報活動や発信情報の充実に努めてまいりますので、皆様のご協力をよろしく願います。（広報部一同）